



神戸大学
KOBEN UNIVERSITY

データ管理・ 利活用シンポジウム 2026

— データの力で、未来を共創する —



9月3日(木)



研究データ管理
(RDM)



データの保存・共有・
セキュリティ



データの統合・
標準化



AI・データ分析で
価値を創出



オープンデータと
オープンサイエンス



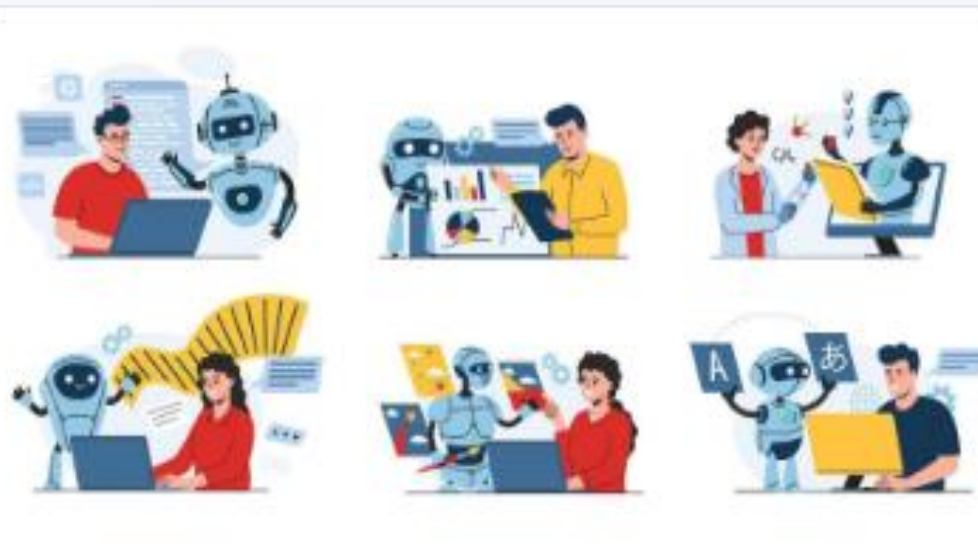
学術研究推進におけるデータマネージメントとデータ利活用

研究データのFAIR化・高品質データ基盤と「AI for Science」の融合により、発見とイノベーションを加速



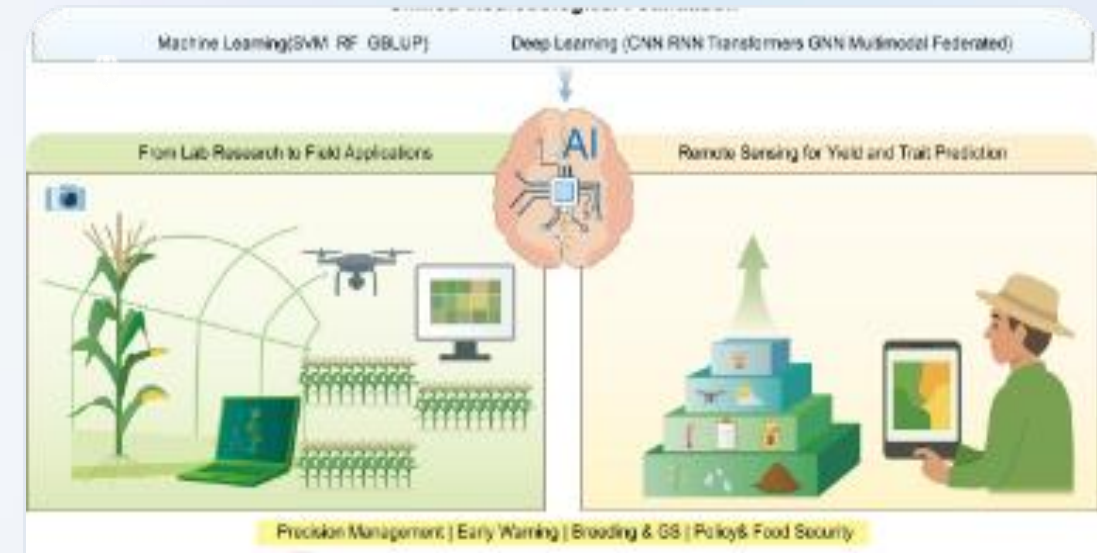
AI for Science の推進

- **研究DXの加速**： AI・マテリアルズインフォマティクス等による実験・分析の高速自動化。
- **科学特化AIモデル**： 論文・実験データ学習済みの科学AIモデルの構築。研究チャットボット
- **仮説検証の効率化**： 膨大な文献や研究データからの未知の法則・化合物自動スクリーニング。



RDM基盤 & FAIR原則

- **研究データ基盤（NII RDM）**： 大学・公的研究機関の実験データ管理とメタデータ一元化。
- **FAIR原則の標準適用**： （F）検索可能・（A）アクセス可能・（I）相互運用可能・（R）再利用可能な共有体制。
- **オープンサイエンス**： 公的資金による研究成果データの原則公開とオープン化推進。



産学官連携 & 安全保障

- **領域横断データ連携**： ライフサイエンス・物質・宇宙等の分野を超えたデータシェアリング。
- **産業活用・社会実装**： 企業のR&D活用を促す安全なデータスペース構築（JSTプラットフォーム等）。
- **研究インテグリティ**： 機密データ保護と国際的な信頼あるオープンデータ共有の両立。

1 データ取得

多様なデータを収集



実験・計測データ

試験、画像、スペクトル、
遺伝子情報 など



観測データ

天文、気象、海洋、地震、
環境モニタリング など



シミュレーションデータ

計算科学、材料、流体、
分子動力学 など



センサー・IoTデータ

デバイス、ウェアラブル、
スマート機器 など



オープンデータ・ 外部データ

公開データ、文献、
産業データ など

2 データマネジメント（管理・基盤整備）

高品質で再利用可能なデータ基盤を構築



メタデータ整備

データの意味・文脈・
条件などを記録



品質管理

データの正確性・
完全性を確保



標準化

フォーマットや用語の
標準に準拠



保存・共有

安全に保存し、
必要な人と共有



セキュリティ・ プライバシー保護

アクセス制御・匿名化
などを実施



バックアップ・ 長期保存

データの消失や劣化
に備える

FAIR原則の実践

F

Findable
見つけれられる



A

Accessible
アクセスできる



I

Interoperable
相互運用できる



R

Reusable
再利用できる



3 AIを活用した データ利活用

AI・解析で新たな価値を創出



データ解析・可視化

統計解析や可視化で
データを理解



機械学習・深層学習

大量データからパターン
や特徴を学習



予測・最適化

将来予測や条件最適化
を実現



知識発見・仮説生成

新たな法則や関係性を
発見し、仮説を導出

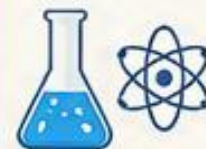


自然言語処理

文献・特許・レポートを
解析し知識を抽出

4 研究成果・社会実装

インパクトの創出



新たな科学的発見

未知の現象や法則の解明
研究のフロンティアを拡大



研究開発の加速

効率化・再現性向上により
研究サイクルを高速化



イノベーション創出

新技術・新材料・新サービス
の創出につなげる



社会課題の解決

医療・環境・防災・エネルギー
などの課題解決に貢献



国際競争力の強化

データとAIの力で日本の
研究力・産業力を強化

多様なデータが研究の出発点

信頼できるデータ基盤がAI・解析の力を最大化

AIがデータから知を引き出す

社会に価値を還元し、未来を拓く

データ利活用を支える要素



人材・組織

データサイエンティスト、
研究者、技術職の連携



ルール・ガバナンス

ポリシー整備、倫理、
コンプライアンス



基盤・ツール

ストレージ、計算環境、
ソフトウェア、クラウド



連携・共創

産学官連携、オープン
イノベーションの推進

AIの性能はデータの質で決まる。

データマネジメントにより高品質で再利用可能な研究データを整備することが、
AI時代の科学技術研究開発の基盤となる。



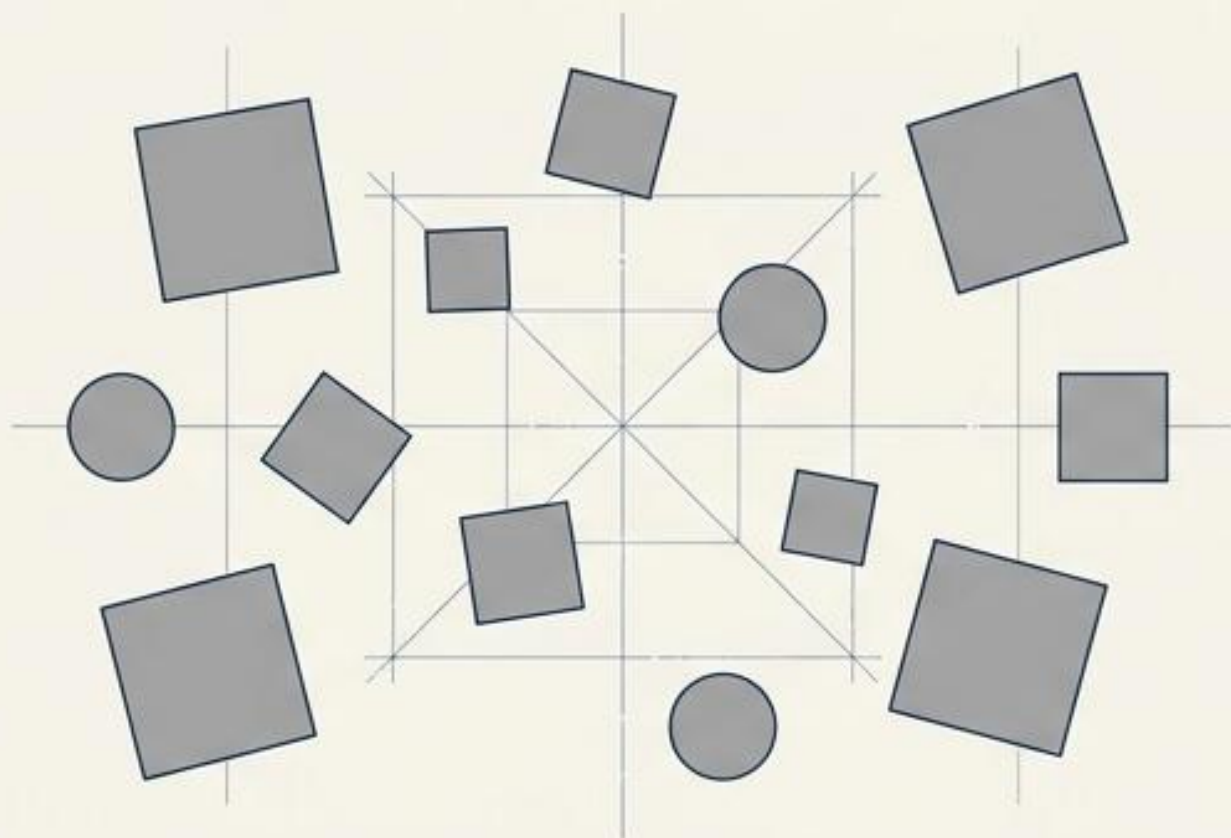


つながる知のブループリント： 神戸大学 データマネジメントプラン (KUDMP)

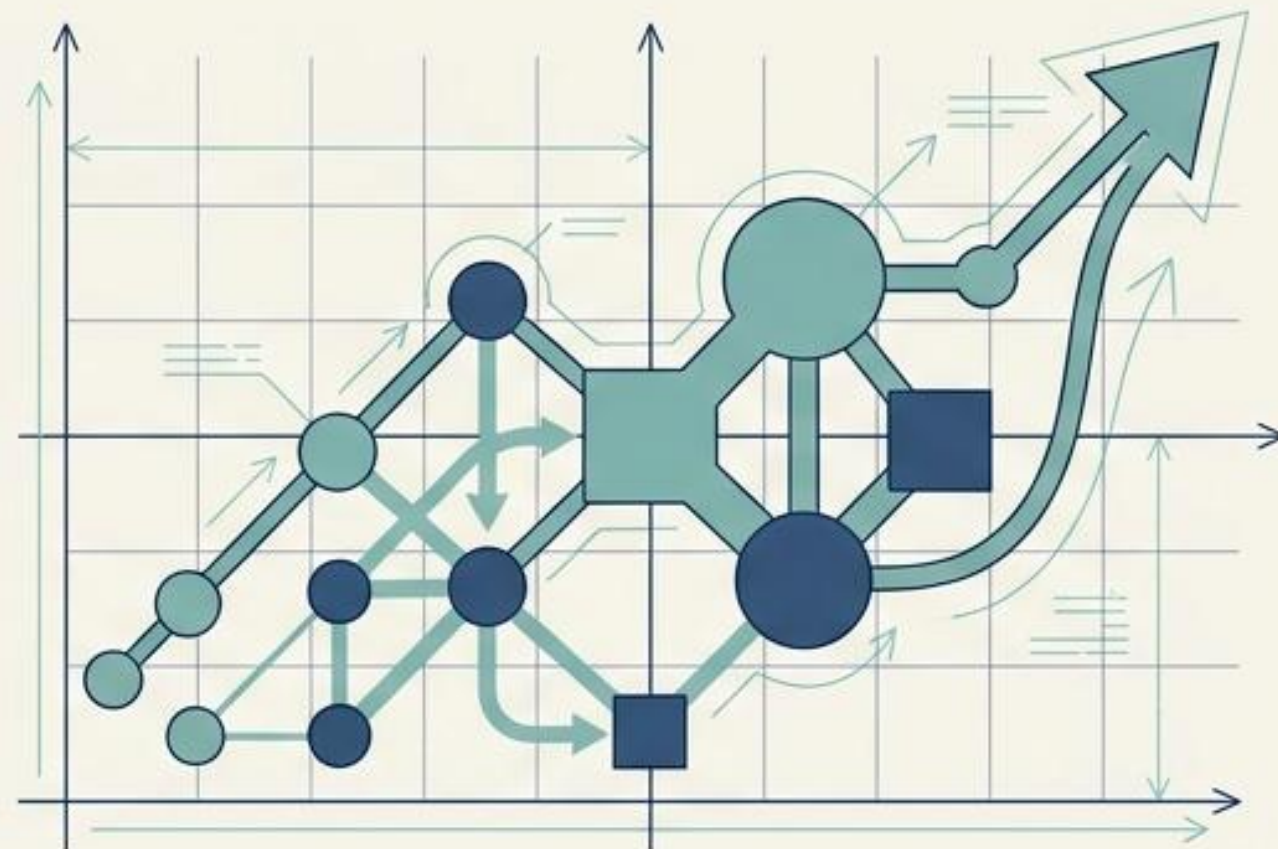
オープンサイエンスとAI時代における、
研究データの戦略的保存と発信

初版（令和8年6月24日）
神戸大学 データ管理・利用ワーキング

データ管理は「事務作業」から「人類の知の発展への投資」へ



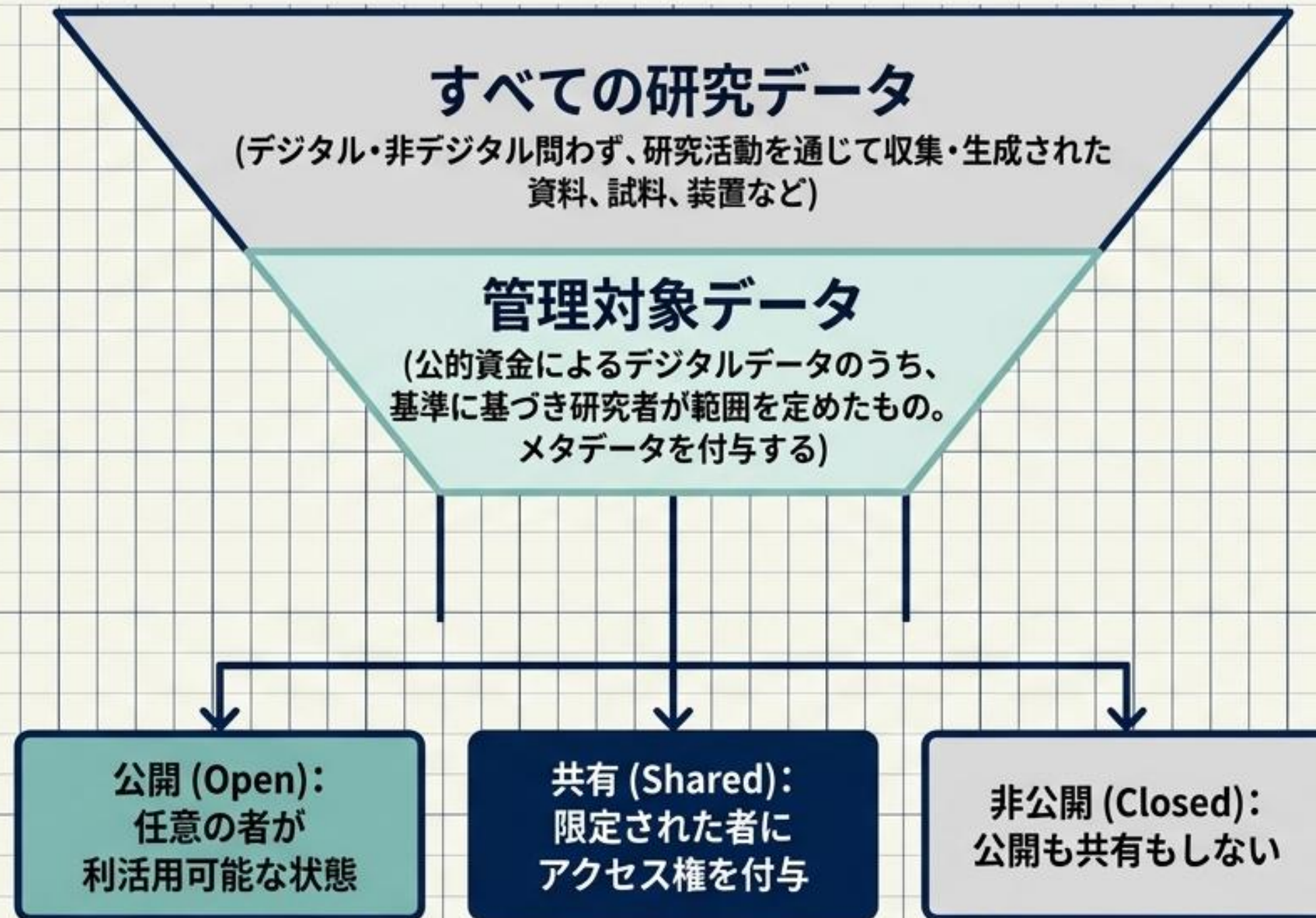
属人的な管理によるデータの散逸。



卓越した研究成果の世界への発信：論文の根拠データを公開し、研究の透明性と信頼性を高める。

AI利活用による新たな知の創出：分野を超えた包括的なデータ分析により、これまでにない独創的・先導的な研究基盤を確立する。

すべてのデータを公開するわけではありません



データを「公開」「限定共有」「非公開」の3つに適切に振り分けることが、データマネジメントの核となります。

研究データのライフサイクル・ジャーニー：5つの実践ステップ

↓



Node 1:

Node 1: 【準備】 DMPの作成

研究開始前にデータマネジメントプラン(DMP)を策定。資金配分機関の指定様式、または科研費参考様式を使用。

Node 2: 【判断】 公開要否の決定

エビデンスデータは公開、その他は分野ごとのガイドラインに従い「公開・共有・非公開」を判断。

Node 3:

Node 3: 【管理】 整理と保存

メタデータを作成し、GakuNin RDMやKuDriveを活用して安全に保存。

Node 4: 【公開】 研究終了後の発信

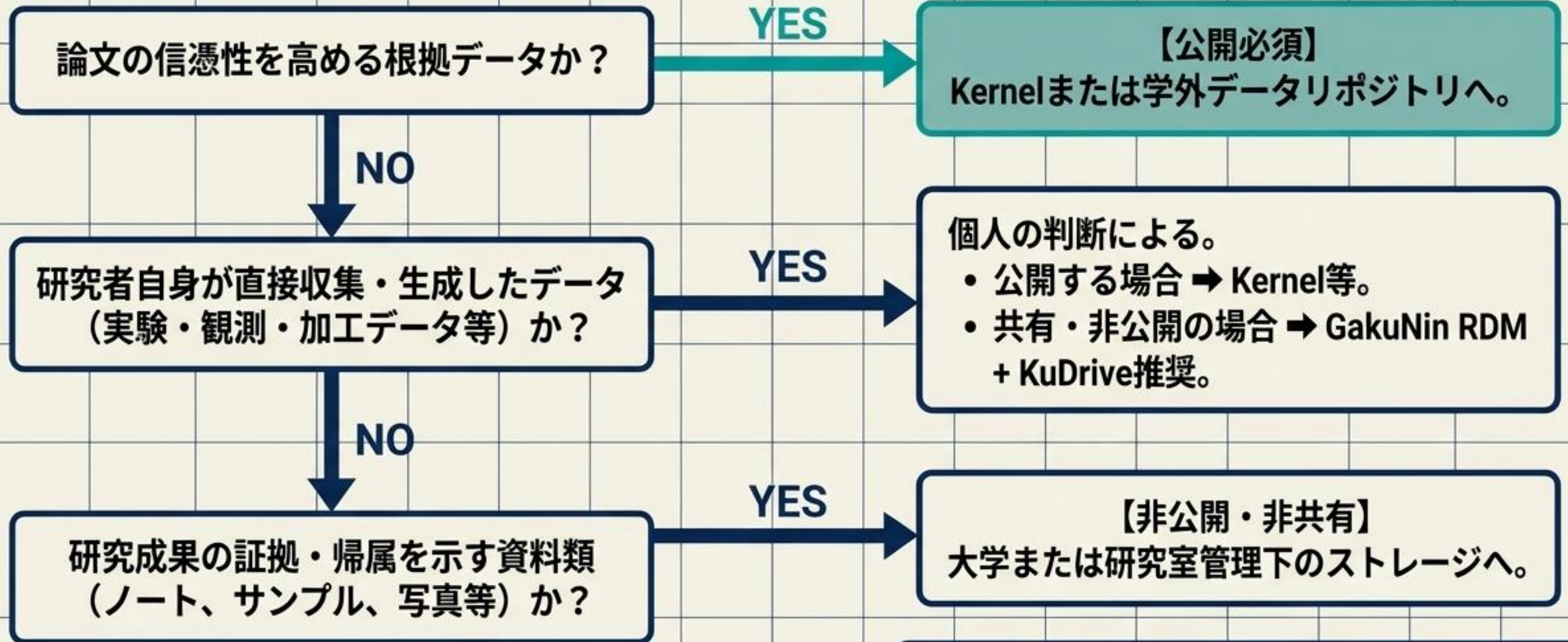
Kernelや外部リポジトリにて公開。DOIやライセンスを付与。

Node 5:

【異動・退職】権 限移譲と継続保存

アカウント失効前に、データの承継または削除を完了させる。

データ公開の意思決定ツリー



「個人情報」や「法的保護対象」が含まれる場合は例外となります（次スライド参照）。

公開すべきでないデータ：3つの強固なガードレール

センシティブな情報

人体への影響や個人情報保護の観点から機微な課題を有する診療データおよび教育データ。

法的保護・知的財産

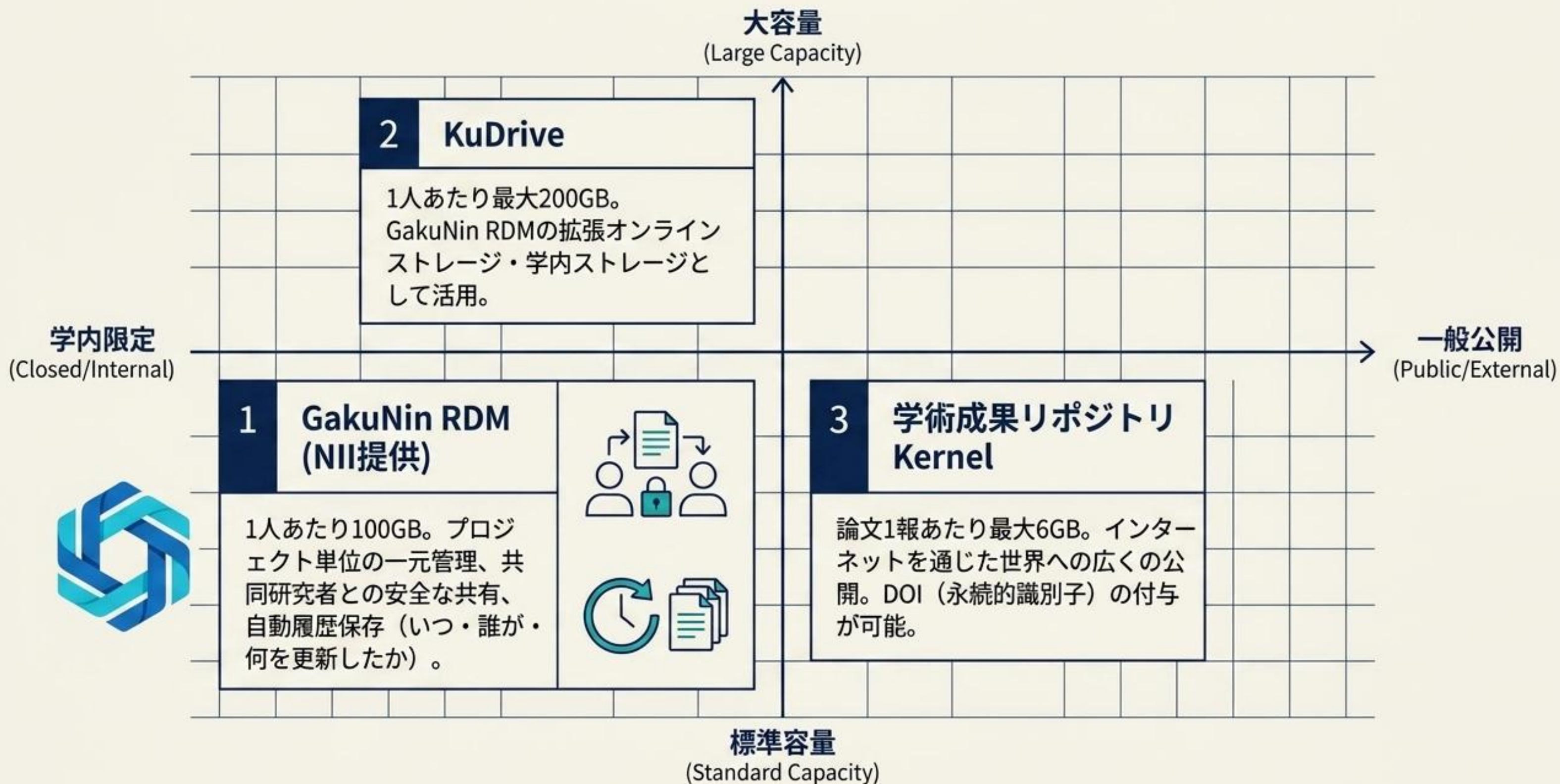
関連法令で保護されるデータ（特許・著作権など知的財産権を有するデータ、不正競争防止法により保護される治験データ等）。

契約による制限

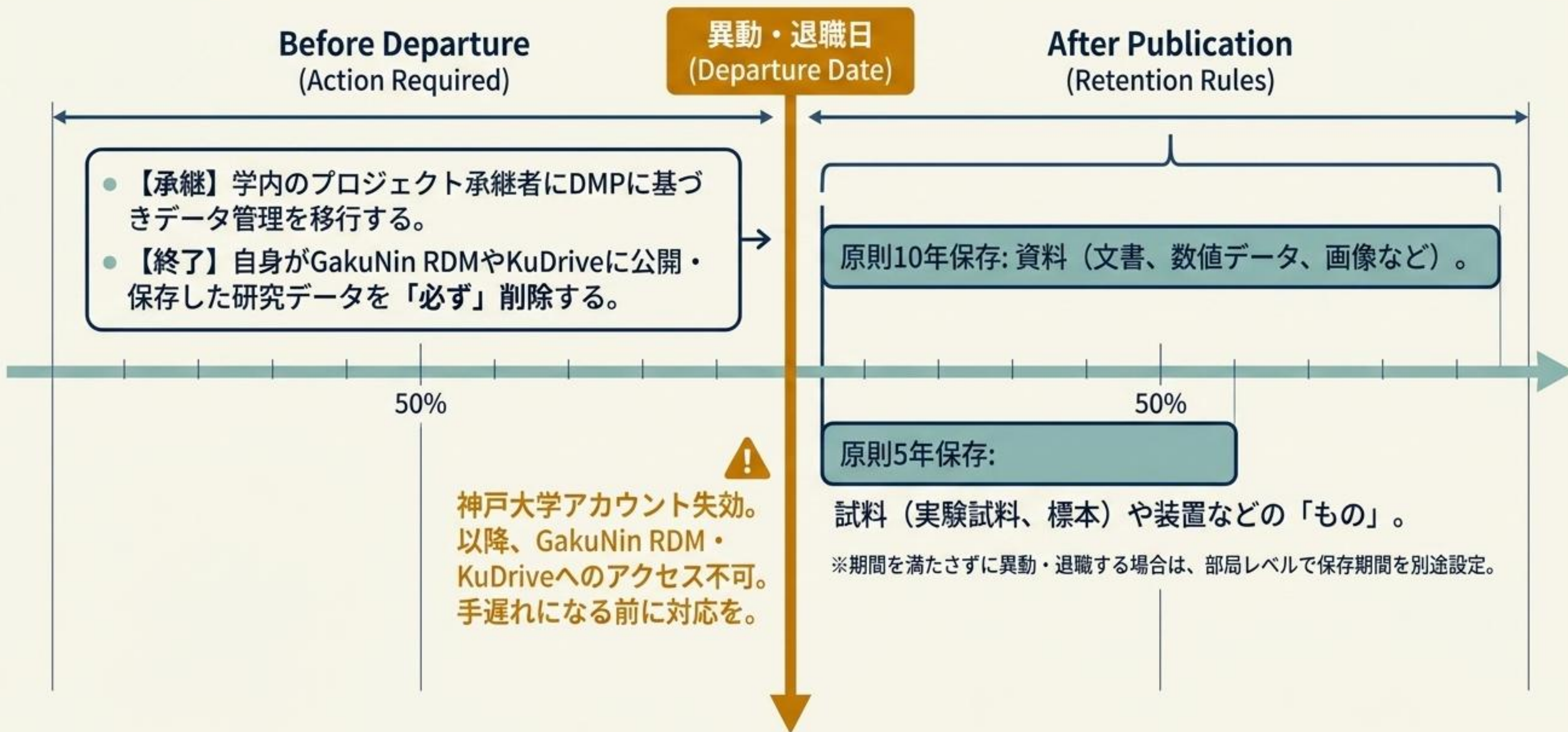
企業等との共同研究に係る契約において、取り扱いについての合意（非公開など）がなされているデータ。

公開しない場合でも、「メタデータ」のみを公開することは望ましい取り組みです。

神戸大学のデータ管理エコシステム：3つのシステムの使い分け



異動・退職時のタイムライン：権限移譲と保存期間のデッドライン



次のアクション：世界へ発信するためのKUDMPチェックリスト

- ☐ **DMPの策定:** 研究開始前に、資金配分機関または科研費の様式でプランを作成したか？
- ☐ **公開要否の判断:** エビデンスデータ、保護すべきデータ（個人情報・知財）を正確に切り分けたか？
- ☐ **ツールの選定:** GakuNin RDM（管理・共有）とKernel（公開）を適切に使い分けているか？
- ☐ **メタデータの整備:** 非公開データであっても、第三者が内容を理解できる適切な名称と説明を付与したか？
- ☐ **出口戦略の確認:** 異動・退職時の権限移譲とデータ削除のデッドラインを把握しているか？



適切なデータマネジメントは、あなたの研究の信頼性を証明し、人類の知のネットワークを拡張する最強のツールです。

競争的資金の
申請サービス

プロジェクトや
研究創生支援

国際化への取り組み

科研費申請書
作成支援
AIエージェント
公開のお知らせ



JSPS
科研費
KAKENHI
募集詳細、申請支援内容を
随時掲載しています
詳しく見る

学術
(さ)
詳しく

INFORMATION

URAからのお知らせ

2026.8.18 **New** 人社系研究対象の研究助成等公募情報一覧
を掲載しました【学内限定】
過去配信分も掲載しておりますので、是非ご活用下さ



2026.8.17 **New** 科研費事務チェックAIエージェントの公開について
基盤ABC、若手、挑戦的（萌芽、開拓）種目を対象とした申請書（e-radで提出されたPDF）
の事務チェックを行うAIエージェントを公開しました。
※試行ですので、最終判断は自己判断で行ってください。
これまでにエージェントの利用登録をされた方はそのままお使いいただけます。



2026.8.06 **New** 科研費申請書支援AIエージェントの学内利用開始のお知らせ
基盤ABC、若手研究種目を対象とした申請書作成支援AIエージェントを公開しました。
詳細について、また登録方法は上部バナーをクリックください。



2026.7.29 **New** 英語対応 科研費申請書支援AIエージェントの学内利用開始のお知らせ
「英語での」基盤ABC、若手、挑戦的研究種目を対象とした申請書作成支援AIエージェント
を公開しましたので、お知らせします。詳細について、また登録方法は上部バナーをクリッ



研究データの管理と利活用

研究データの利活用と研究不正を防止する観点から適切に管理されることが求められています。本学では研究データ管理・利用の考え方を「神戸大学データマネジメントプラン」に整理して学内に周知することにより、研究者による研究データの公開をより一層促進させ、人類の知の発展を導く卓越した研究成果を世界に発信することを目的としています。

神戸大学データマネジメントプラン PDFは[こちら](#)（学内専用）

関連リンク

[神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー](#)

[神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー解説（暫定版）](#)

[神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー実施ガイドライン（学内限定）](#)

[神戸大学における研究データ等の保存期間等に関するガイドライン](#)

[研究データ管理システム「GakuNin RDM」の利用について](#)

[KuDrive（教職員向けオンラインストレージサービス）](#)

[学術成果リポジトリKernel](#)

研究データ 管理・利活用

[詳細はこちら](#)

研究者探訪

学内で活躍されている先生方に、
URAがインタビュー

